

授業科目名	人間心理 I	担当教員	熊倉俊一 (他 日程表に記載)		
開講年次及び学期	1年前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義・スモールグループディスカッション・プレゼンテーション	時間数	30	単位数	2
<b>授業の目的 (概要)</b>					
<p>人は、苦しみを避け、自己の幸せ・安楽を求める利己的な存在である。しかし、人は、常に他者との関わりで生存する。その意味で、人は、利他的・道徳的であるべきである。「行動科学」では、人の行動と心理との関係を学び、他者や社会に対して適切な行動をとることができる資質を培う。</p> <p>また、人が病気になったときの心理と行動、さらに、人の習慣や行動が健康や疾患に与える影響について理解を深める。</p> <p>&lt;ディプロマポリシーとの関係&gt;  医療人として適切な判断力・行動力  コミュニケーション能力  問題解決・自己研鑽能力</p>					
<b>学修成果 (到達目標)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人の行動は、個の価値観や幸福観、感性、経験、欲望、利己・利他的感覚、理性、道徳的観念などさまざまな要因により規定されることを理解できる。</li> <li>2. 他者の心理や行動を理解・支持し、良好な人間関係を構築できる。</li> <li>3. 健康における精神と身体との関係を説明できる。</li> <li>4. タバコ、アルコール、危険な性行為、食生活・運動不足など人の習慣・行動は、さまざまな病気の原因やリスクになることを説明できる。</li> <li>5. 人の行動変容と疾病予防、健康増進について具体的に述べるができる。</li> </ol>					
<b>キーワード</b>					
心理、行動、科学者、医師・看護師、患者、精神と身体、習慣と疾患、予防・健康増進					
<b>授業の進め方</b>					
スモールグループディスカッション・プレゼンテーション (アクティブ・ラーニング) を基本とする。					
<b>成績評価の方法 (合否基準)</b>					
総括評価 授業時間内で実施するレポート (小テスト)					
合否基準 レポート試験の総得点を100点満点に換算したうち60点以上					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
「存在と苦悩」ショーペンハウアー (金森誠也訳) 白水社 「原子爆弾1938～1950年」ジム・バゴット (青柳伸子訳) 作品社 「ロバート・オッペンハイマー：患者としての科学者」藤永茂 朝日選書 「この子を残して」永井隆 アルバ文庫 Patterns of tobacco use. Rigotti N. UpToDate Management of smoking cessation in adolescents. Rosen JB, et al. Behavioral approaches to smoking cessation. Park ER. UpToDate Risky drinking and alcohol use disorder: Epidemiology, pathogenesis, clinical manifestations, course, assessment, and diagnosis. Tetrault JM, et al. UpToDate					
<b>オフィスアワー</b>					
月～金					

## モデル・コア・カリキュラムとの関連

### A-4 コミュニケーション能力

- A-4-1) コミュニケーションと支援における相互の関係性

### B-2 社会システムと健康

- B-2-1) 健康と概念
- B-2-2) 環境と健康
- B-2-3) 生活・ライフスタイルと健康との関連

### C-2 生活者としての人間理解

- C-2-1) 人間にとっての生活
- C-2-2) 個人と家族
- C-2-3) 生活環境としての場
- C-2-4) 地域社会における生活者

### C-5 健康障害や治療に伴う人間の身体的・精神的反応の理解

- C-5-1) 病（やまい）に対する人間の反応
- C-5-3) 主な健康障害と人間の反応
- C-5-4) 薬物や放射線による人間の反応

### D-4 健康の段階に応じた看護実践

- D-4-1) 予防が必要な人々に対する看護実践
- D-4-5) 人生の最終段階にある人々に対する看護実践

### D-5 心のケアが必要な人々への看護実践

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	授業内容	担当者
1	4/15	14:55～16:35	L2	オンライン	ライブ (Webex) +オンデマンド	志と行動	卒後臨床研修センター 鬼形
2	4/22	〃	L3	オンライン	ライブ (Webex)	心理と行動1	保健管理センター 臨床心理士・和田
3	5/6	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	心理と行動2	保健管理センター 臨床心理士・和田
4	5/13	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	コミュニケーション・意思決定プロセス	臨床研究センター 大野
5	5/20	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	行動・習慣と健康1 タバコ	呼吸器・臨床腫瘍学 磯部
6	5/27	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	行動変容と健康1 禁煙指導(ロールプレイ)	呼吸器・臨床腫瘍学 磯部
7	6/3	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	行動・習慣と健康2 アルコール	精神科学 大拙・岡崎・稲垣
8	6/10	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	行動変容と健康2 禁酒指導(ロールプレイ)	精神科学 大拙・岡崎・稲垣
9	6/17	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	感染と行動変容	地域医療支援学 佐野
10	6/24	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	がんと患者心理・行動1 告知後の心理	精神科学 稲垣
11	7/1	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	がんと患者心理・行動2 患者を支えること	精神科学 稲垣
12	7/8	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	ストレスと健康	保健管理センター 江副
13	7/15	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	科学者の苦悩1	地域医療教育学 熊倉
14	7/29	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	科学者の苦悩2	地域医療教育学 熊倉
備考							